



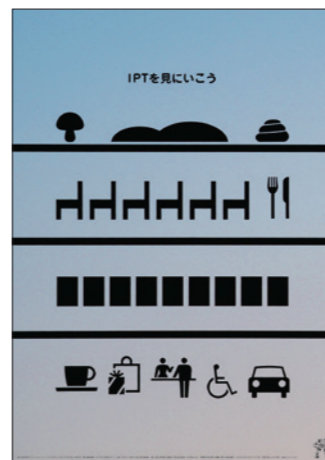
第13回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2021 IPT2021 応援ポスター

テーマ「IPTを見にいこう」

- 主催
「ポスターの街・とやま」実行委員会
- 協力
富山県印刷工業組合
[朝日印刷(株)・キクラ印刷(株)・北日本印刷(株)・(株)すかの印刷・(株)チューエツ・とうざわ印刷工業(株)・富山スガキ(株)・中村印刷工業(株)・(株)ニッポー・(株)山田写真製版所
富山県洋紙会・TOYAMA ADC]



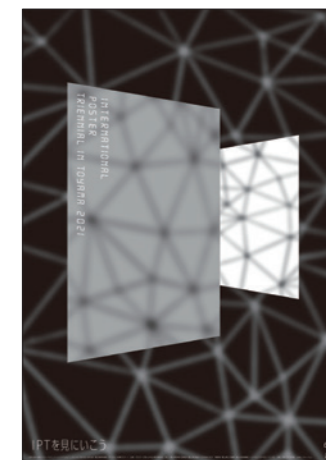
櫛 昭治
デジタルの時代になってもポスターには人を引きつける力がある。



大浦裕二
告知とサインの機能の両立を考えました。



柿本 萌
世界中から集まるポスターを見に行こう。



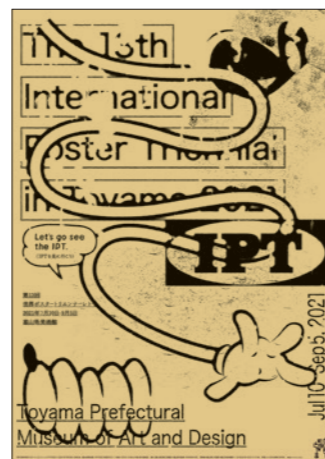
門嶋隆裕
ポスターという扉の向うには、あらゆる刺激が隠れている。次から次へと神経を伝う、感性の世界が広がる。



彼谷雅光
夏に行われるトリエンナーレ。コロナ禍からの開放という願いを込めて、どこかのリゾートに出かけるような気分で世界のデザインに触れて、洗い晒しのような爽やかな一時を楽しんで欲しいといった思いで作りました。



久保美穂
「Yubbe Road ユビー・ロード」
IPTを見にいこう!



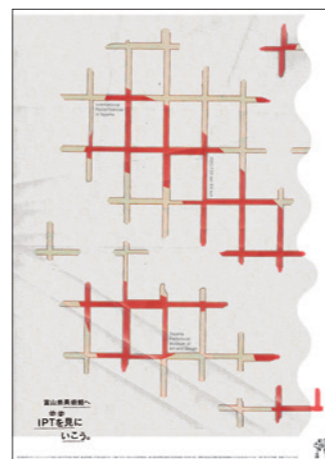
久保田光明
印刷時の不具合を意図的に起こした不良ポスターを使うことで、印刷業者さんの日々の努力と技術力を感じてもらおうと共に、日常的に見るポスターが当たり前ではないことを表現した。



越川広貴
人もポスターも世界は、繋がっている。



佐々木苗美
思考しながら踊るようにポスターを楽しめる3年に1度の祭典世界ポスタートリエンナーレを表現しました。きっとお気に入りの見つかるはずです!



高嶋鮎美
世界中から集められ、様々な人々の血が通ったポスターを通して世界の今を感じることができるかもしれません。



田中祐樹
映画のポスターをイメージしポスタートリエンナーレ富山の情報をミックスしました。



寺越寛史
世界中から数多くのポスターが集まるIPT。ポスター1枚を作るためにデザイナーはたくさんのデザイン案を考えて検証を繰り返します。その様子をイラストで表現しました。



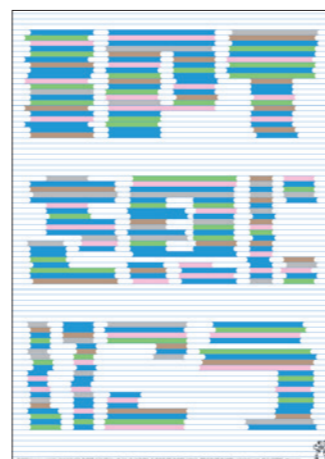
橋爪礼子
テーマ「IPTを見にいこう」に気づいてもらうために何かを見ている眼で表現しました。何を見ているのか興味をもって見てもらえたらと考えました。



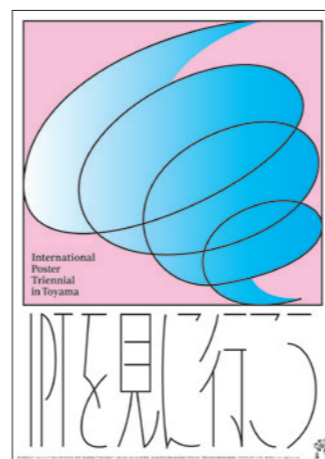
橋本麻理子
A ray of light.



羽田 純
気持ちがつたわるように、手で書きました。



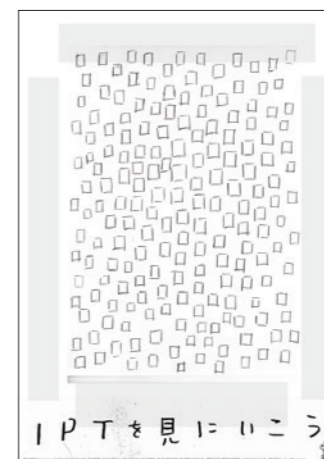
林 久美
ヨコのラインは、移動の軌跡です。それ、見にいこう、と移動している様子をカラフルに躍動感こめて表現しました。



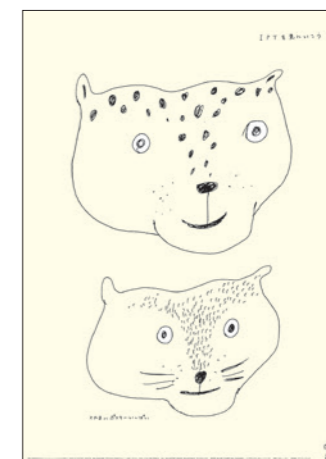
平野 暉
ビュンとひとつ飛び、IPTを見に行こう。



古谷浩司
ポスター大好きポスター怪獣(赤)。世界中から集まった選りすぐりのポスターは、さぞ美味しいことだろう。



宮田裕美詠
たくさんポスターが集まっている場所をイメージしています。



山口久美子
ポスターの役割が変わってきていると感じています。貼りたいポスター、欲しいポスター。そんなポスターを作れたらと悩んでいたら、ノートの切れ端に彼らがいました。